



Tokyo Tech

総合型・学校推薦型選抜で143人の「女子枠」を導入

2024年4月入学者対象（令和6年度入試）から順次実施

2022年11月

東京工業大学

**東工大は、
2024年4月入学の入試から、
「女子枠」を導入します**

**これにより、女性が活躍できる
D&Iが浸透した社会の形成・発展に貢献します**

女子枠の導入

東工大は、2024年4月入学の入試から、「女子枠」を導入します

2024年度入試から2025年度入試にかけて、
総合型選抜・学校推薦型選抜に
合計143名の女子枠を導入

入学者の女性比率

現在
学士課程全体で約13%

導入後（見込み）
各学院それぞれで20%以上



目指すこと

- 本学の学修環境を多様性のある理想的なものに近づけます。
- より多くの女性科学者・技術者を社会のさまざまな分野に輩出します。

さらに

- これを起点に波紋が広がり、本学だけでなく社会全体に、真に多様性を受容する環境が育つことを期待します。

一般選抜（前期日程）

- 方式：全学一括入試
- 選抜：共通テスト、個別学力検査、調査書

➡ 学力検査中心の選抜

総合型・学校推薦型選抜※

- 方式：学院別入試
- 選抜：共通テスト、個別学力検査、面接、調査書など（学院ごとに異なる）

➡ 学力検査に加え、面接や多種の書類を含む、より丁寧で多面的・総合的な選抜

※ 総合型選抜：AO入試のこと
学校推薦型選抜：推薦入試のこと

「女子枠」を新たに導入



学士課程の総合型・学校推薦型選抜を大幅に拡大します

一般選抜（前期日程）

総合型・学校推薦型

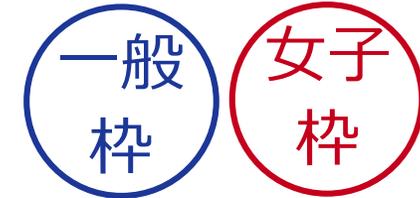
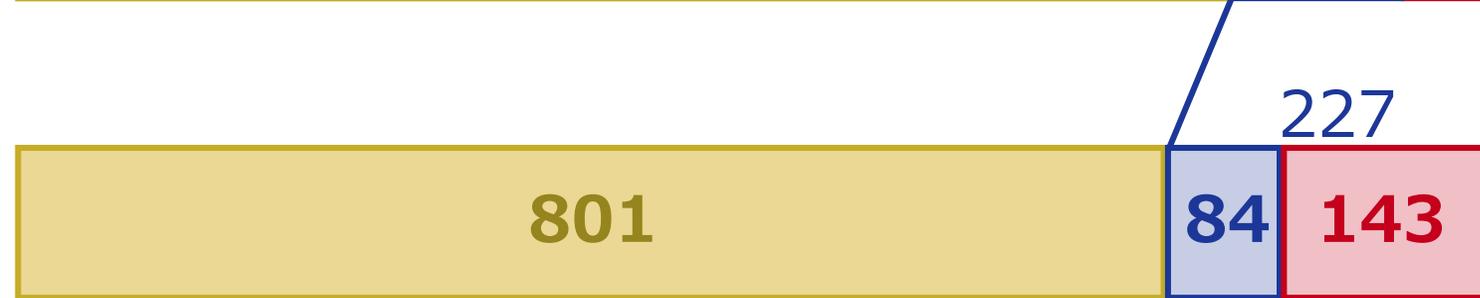
2023年4月入学のための入試(現在)



2024年4月入学のための入試



2025年4月入学のための入試から

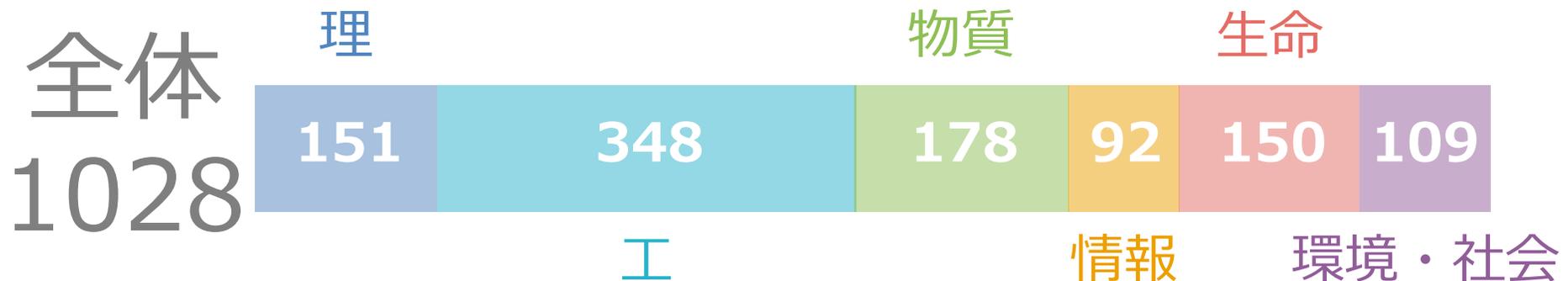


「一般枠」と「女子枠」に区分し、女子枠で143人を募集します



全体の募集人数はどう変わる？

全体の募集人数、学院ごとの
総募集人数は変わりません





新たに設置した女子枠とは？

- 女性が対象となります
- 提出する出願書類など新たな評価軸を追加します
- 女子枠の数や選抜方法は学院ごとに異なります
- 女子枠への出願者は一般枠に併願することもできます
- 一般枠と女子枠を併願する場合、各枠で判定した結果、両方合格であれば女子枠としての合格となります



学院ごとの募集人員

	学院	募集人員			導入時期
		現行	一般枠	女子枠	
総合型選抜	理学院	—	—	15人	2025年4月 入学
	工学院	34人	—	70人	
	物質理工学院	18人	20人	20人	2024年4月 入学
	情報理工学院	6人程度	6人	14人	
	生命理工学院	15人	15人	—	
	環境・社会理工学院	17人	20人	9人	
学校推薦型選抜	理学院	8人	8人	—	2024年4月 入学
	生命理工学院	—	15人	15人	
全学合計		98人	84人	143人	



2025年4月入学から

募集人員 151人

一般選抜 128人 (15減)

新設  総合型 (女子枠) 15人 (15増)

継続 学校推薦型 (一般枠) 8人 (±0)

- 学院の多様性を広げるために女子枠の総合型選抜を開始
- 理学を学ぶために必要な基礎学力を重視
- 数学、物理、化学の学力と面接で評価



理学院の総合型（新規）



2025年4月入学から

新規 女子枠のみ：15人

第1段階選抜（約1.5倍を超えた場合行う）

共通テスト（得点合計）で選抜を行う

第2段階選抜

学力評価 （90点）	数学（「数学III」を主な出題範囲とする筆記試験。30点） 物理（共通テストの結果で代用する。30点） 化学（共通テストの結果で代用する。30点）
面接（10点）	理学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力、およびそれらを表現する能力を評価する。

理学院の学校推薦型（変更なし）

変更なし 一般枠のみ：8人

それぞれの高校は2名まで推薦可能（以下の要件3については人数制限なし）

推薦要件

以下のいずれか

1. 理学に関連した課題研究で主導的な役割を果たし、優れた成果を挙げてそれを発表した者
2. 課外活動において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げた者
3. 数学，物理，化学，地学のいずれかの国際科学オリンピックの日本代表。または国内予選で優秀な成績を収めた者

主な出願書類

- 研究内容の要約（要件1か2の場合のみ）

選抜方法

- 共通テストの成績，推薦書，研究内容の要約，並びにその他の出願書類を総合的に評価し，合格者を決定

2025年4月入学から

募集人員 348人

一般選抜 278人 (36減)

変更 総合型 (女子枠) 70人 (36増)

- 新しい総合型は、女子学生を対象
- 面接と共通テストを半々で評価
- 個別試験では筆記試験は行わず、共通テストを利用
- 志望理由書に「女性活躍社会に貢献するために本学工学院で学びたいこと、および自身の将来像」を記載

工学院の新しい総合型

女子枠のみ：70人

2025年4月入学から

第1段階選抜 変更点 (約1.5倍を超えた場合行う) 現行は約2~3倍

共通テスト (得点合計) で選抜を行う

第2段階選抜

変更点

総合問題 (面接) (100点)

女性活躍社会に貢献するために本学工学院で学びたいこと、及び自身の将来像をふまえた志望動機、与えられた物理や数学 (数学Ⅲを含む。) のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。

※ 志望理由書に「女性活躍社会に貢献するために東京工業大学工学院で学びたいこと、および自身の将来像」を記載。

変更点

共通テスト (100点)

得点合計で評価

※現行で行っている総合問題の筆記試験は行わない



2024年4月入学から

募集人員 178人

一般選抜 138人 (22減)

変更 総合型 (一般枠) 20人 (2増)

新設 総合型 (女子枠) 20人 (20増)

- 女子枠の総合型選抜を開始
- 筆記試験は行わず、共通テストを利用。理科と外国語を重視
- 面接では、女性が活躍できる環境調和型社会に貢献するために学びたいこと、及び自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価

物質理工学院の新しい総合型



一般枠：20人、女子枠：20人

2024年4月入学から

女子枠では、科学的センスと世界展開の可能性を有した女性の入学を期待しているため、一般枠と配点が異なる

変更点

第1段階選抜（約1.5倍を超えた場合行う）現行は約2～3倍

共通テスト（得点合計）で選抜を行う

一般枠ではすべての科目を素点のまま合計し、女子枠では理科と外国語のみを1.5倍に換算し合計する。

第2段階選抜

総合問題（面接）

一般枠 科学的な知識及び考え方について試問し、考察力、表現力とともに物質についての科学技術を学ぶうえでの適性を評価する。

女子枠 科学的な知識及び考え方について試問し、考察力、表現力とともに物質についての科学技術を学ぶうえでの適性を評価する。

また、女性が活躍できる環境調和型社会に貢献するために本学物質理工学院で学びたいこと、及び自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価する。

変更点

共通テスト

一般枠ではすべての科目を等倍で換算し、女子枠では理科と外国語のみを1.5倍に換算する。

現行で総合問題の筆記として個別試験を課しているものを廃止し、共通テストを利用

第2段階選抜では一般枠・女子枠ともに総合問題（面接）と共通テストを等しい重みの配点とする 16

2024年4月入学から

募集人員 92人

	一般選抜	72人 (14減)
継続	総合型 (一般枠)	6人 (±0)
新設	総合型 (女子枠)	14人 (14増)

- 女子枠の総合型選抜を開始
- 活動実績報告書を提出
- 女子枠の面接では、女性活躍社会に貢献するために本学院で学びたいこと、及び自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力の評価も加える

一般枠：6人、女子枠：14人

2024年4月入学から

第1段階選抜 一般枠は^{変更点}約2倍を、女子枠は^{変更点}約1.5倍を上限とする 現行は約2～3倍

共通テスト（得点合計）と出願書類で選抜を行う

- 枠による違いなし
- 活動実績報告書の内容を重視。
- 共通テストの成績は、基礎学力の判定のために用い、概ね720点以上（2025年度入試にて共通テストの「情報」科目導入以後。2024年度入試では650点以上）の得点かどうかで判断する。

第2段階選抜

総合問題（面接）（100点）

- 面接内容が一般枠と女子枠で異なる
- 女子枠では以下を追加

女性活躍社会に貢献するために本学情報理工学院で学びたいことおよび自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価

2024年4月入学から

募集人員 150人

	一般選抜	105人(30減)
変更	総合型(一般枠)	15人(±0)
新設	学校推薦型(一般枠)	15人(15増)
新設	学校推薦型(女子枠)	15人(15増)

- 一般枠と女子枠からなる学校推薦型を開始
- 女子枠志願者は「目指すキャリア」と入学後に身に付けたい学修内容を記載した「学修計画書」を提出



生命理工学院の新しい総合型



一般枠のみ：15人

2024年4月入学から

第1段階選抜 変更点 (約2倍を超えた場合行う) 現行は約2~3倍

共通テスト(得点合計)と出願書類で選抜を行う

第2段階選抜

総合問題(100点)

筆記 生物に関する設問により、基礎学力、論理的な思考力及び記述力を評価する。

面接 生命理工学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力及び適性を評価する。

変更点

共通テスト(50点) 現行では用いていない共通テストが第2段階選抜の評価に加わる

数学を20点、理科を20点、外国語を10点に換算

生命理工学院の学校推薦型（新規）

一般枠：15人、女子枠：15人

2024年4月入学から

新規 それぞれの高校は一般枠と女子枠を合わせて2名まで推薦可能

推薦要件

- 生命理工学院に対する明確な志望理由と学修の熱意を有し、学習成績・人物ともに特に優れる者
- 指定する共通テストの教科・科目を受験している者
- 数学I、数学II、数学III、数学A、数学B、数学Cの全てを履修、または履修見込みの者。（※数学Cについては2025年度入試以降）
- 理科（生物、物理、化学）のうち2科目以上を履修している者

出願書類

- 志望理由書
- 【女子枠のみ】学修計画書：「目指すキャリア」と入学後に身に付けたい学修内容

推薦書類記載事項

- 3か年にわたる各学年での学年全体での成績順位（何人中何位）
- 志願者が推薦にふさわしい理由

【特記事項】

正規の授業科目の一環として実施した課題研究で主導的な役割、優れた成果

課外活動において実施した研究で主導的な役割、優れた成果

国際科学オリンピック等に日本代表、国際科学オリンピックの国内予選で優秀な成績

選抜方法

- 共通テストの成績、提出書類を総合的に評価し、合格者を決定
- 【女子枠のみ】学修計画書を評価対象に含める

2024年4月入学から

募集人員 109人

一般選抜 80人 (12減)

継続 総合型 (一般枠) 20人 (3増)

新設 総合型 (女子枠) 9人 (9増)

- 女子枠の総合型選抜を開始
- これまで授業や課外で取り組んだ活動およびそれらの活動を通して養われた能力・考え方のうち、環境や社会とのかかわりでアピールできるものをまとめた「活動実績報告書」を提出

一般枠：20人

2024年4月入学から

A 建築学系：8人、B 土木・環境工学系：6人、C 融合理工学系：6人

女子枠：9人

A 建築学系：3人、B 土木・環境工学系：3人、C 融合理工学系：3人

第1段階選抜

一般枠

共通テスト（得点合計）と出願書類（Cのみ）で選抜を行う

- Aは^{変更点}上位19人程度、Bは^{変更点}上位15人程度、Cは^{変更点}上位15人程度を上限とする 現行は約2～3倍

女子枠

共通テスト（得点合計）と出願書類で選抜を行う

- A, B, Cいずれも上位6人程度を上限とする

第2段階選抜

総合問題（100点）

A：造形課題

B：面接（筆記を含む）

C：面接

【女子枠のみ】

- 活動実績報告書

これまで授業や課外で取り組んだ活動およびそれらの活動を通して養われた能力・考え方のうち、環境や社会とのかかわりでアピールできるものをまとめたもの

- この資料は2022年11月時点の公表情報に基づいて作られています。
- 試験実施までに変更される可能性があります。必ず最新情報を参照してください。
- 最新情報は東工大高校生・受験生向けサイトに掲載されます。
- 入試に関する情報は、試験ごとに発行される募集要項が確定情報となります。